

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）

(実施期間：令和元～令和6年度)

実施機関：九州大学（総括責任者：石橋 達朗）

取組の概要

本事業では、世界的に注目を集めた九州大学の「女性枠設定による教員採用・養成システム（KASOKU）」をさらに充実させ、女性及び若手人材の上位職ならびに管理職への登用を加速的に進める目的で、世界トップレベルのグローバル教員育成研修を企画し、これを実行する。

STEP1 透明性の高い審査による研修生の選出（実質的昇任審査）

STEP2 大学ガバナンス、ダイバーシティ・インクルーシブ教育

STEP3 英語でのアクティブラーニング型教授法教育

STEP4 留学生への英語での実践的研究指導

STEP5 最新学問分野等のリカレント教育

STEP6 最終試験：海外での実践的教育・研究指導

本研修で目標レベルに到達した教員には「認定書」を与え、テニュアの付与あるいは1段階の内部昇格を基本とする。本事業の達成目標は、上位職登用数 50 名（事業期間内）とする。研修プログラムの内容は研修生の業績データとともに公開する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
S	s	s	s	s	a

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

(2) 評価コメント

世界と伍して戦える強い大学の実現を目指す大学の方針に則り、これまで実施してきた女性研究者の活躍促進に係る取組の成果を踏まえ、世界トップレベルの研究教育力を身につけた女性研究者及び若手研究者の育成を進める「ダイバーシティ・スーパーグローバル教員育成研修（SENTAN-Q）」を構築した。厳格な審査に基づき選考された研修生を対象に、明確な目標の下に設計された先端的であると同時に実効性の高い6つのSTEPよりなる研修を実施し、着実な成果を挙げていることは高く評価できる。研修においては、社会における多様性と包摂性の重要性に対する理解を深めることが配慮され、教員育成研修という新たなスタイルでダイバーシティの推進を目指す野心的な取組であり成果が期待できる。今後の取組の成果を期待するとともに、更なる情報発信を通じて広く他機関へ波及効果を及ぼすことを期待する。

- **目標達成度**：研修生の選出、研修の実施ともに計画通り進捗しており、上位職登用数 50 名という目標の達成へ向けて順調に推移している。また、大学全体としての女性教員採用比率、指導的地位の女性比率に係る目標も達成し、設定された目標はすべて達成しており高く評価できる。
- **取組**：厳密な審査により学内から毎年 10 名の研修生を選出し、男女や文理の垣根を越えた研修を実施し、目標とする世界トップレベルの研究教育力を身につけた研修生にはテニュアの付与

又は上位職への昇進を認める「ダイバーシティ・スーパーグローバル教員育成研修 (SENTAN-Q)」を構築した。コロナ禍にあっても海外協力大学と連携し順調に研修生の育成を進めており高く評価できる。

- **取組の成果**：1期生の女性研修生5名については、研修修了後1年以内に教授への昇任が既に予定されており、「SENTAN-Q」の取組が女性研究者の上位職登用に着実に繋がっている。また、1期生の2名の女性研修生が研修期間中に出産したにもかかわらず、育児と研修を両立させている点は高く評価できる。
- **実施体制**：学長のリーダーシップの下、「男女共同参画推進室」が、国際事業、研究者育成・支援、研究企画／データ解析に係る学内組織、海外協力大学と密に連携し、取組を推進する体制が構築されており高く評価できる。
- **今後の進め方**：補助期間及び実施期間終了後も、全学的な取組として「SENTAN-Q」を継続、発展させていくことが計画されており評価できる。今後は、研修生の男女比率、偏りのない研究分野からの人選、研修を中断した研修生のフォローアップ、知的財産管理等に配慮し、取組を進めることを期待する。